
気の弱いゆえにw

莓一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

気の弱いゆえにW

【Nコード】

N7220V

【作者名】

莓一

【あらすじ】

しゅーちゃんが主人公ですw!!

一話

ある日の下校途中のこと

「しゅーちゃん、今度さあーパーティーするんだけどくるよねっ！

」！

「うーん……」

「こちよこちよこちよ

「ちよっ、おま、やめろよ!!」

「じゃあ、来るよね!」

これが、こんな結末になるとは………

……三日後

「いよいよ、当日になった。」

「持つてくるものは、Yシャツだけでいいって言われた……」

「一体、なにに使うんだろう……?」

あと、途中で2Lのコーラとなっちゃんとカールとかお菓子を一応

買い込んで来た

流石にお邪魔する身だからね」

二羽

ピンポン

流石にピンポンは押さないとねw！

するとドアがひらいて勇が出てきた

「おーk t k r、んじゃあ、上がって」

いわれたとおり、靴を脱ぎ部屋に入ると

・・・・・・・・・・

いろんなコスプレ衣装があつた

・・・・・・・・なんじゃこりやw

「今日のために用意したのw」

「んじゃあ、手始めにこれにしますかw」

といって、差しだれたのは、うちの学校の女子用のスカートとリボ

ン、ベルト

そして、女物の下着渡された

「これに着替えてね」

と出て行った後、沈黙がつづいた

「いたしかたね」

服を脱いで、綺麗に畳み、そして、

着始めた・・・・・・・・

難関だったのは上の下着だったがどうにかなった

そして、部屋を出て、近くにあったドアを開いてみた

すると、そこには見慣れた人が何人もいた

同じクラスの女子とか知り合いなど10人いた

続く

三和

「……………いたいぜっいたいどうなってるんだよっ

多少の後ろめたさを感じつつ、来た道を引き返そうとすると、
勇が後ろから襲ってきた（これは覆いかぶさる的な意味w）

「しゅーちゃん、にげちゃだーめ！！。これから始まるショータイ
ムなんだから」

一体、なにを言っているんだか……………

……………まず、話だけ聞か

「夏休みって長くて暇じゃない。だからその暇つぶしにポロってし
やべったら、大好評で、誰にやらせよう、ってなったときにしゅー
ちゃんできゅんってなったの」

……………どうしてこうなった

「そしたら、みんなが拡散しちゃって、結果こうなったの。

まあ、男子が、勇くんだけだったからまあいいか

ほかにいたら大変だもんね

「というか、なんかさっきからパチャパチャ聞こえる気がするんだ
が」

「それは、こんな状態だからだよ」

「じゃあ、お化粧直しの前におかし食べようず」

まず、お化粧直してなんだよって突っ込みつつ

椅子に、おんにゃのかが座るように膝を閉じて座った。

四把（前書き）

B a d a p p e l e 聞いてる

四把

ふー、一息つけた。まあ、コーラだがw

来ている人を見てみる、みんな、私をよく知っている人だった。

「じゃあ、しゅーちゃんの印象を聞いていきますか」

「……………それ気になる」

だが、みんなそろって「似合ってる」っていう

それに「嫉妬」してる人もいるらしいw

そんなに、似合うわけがねーよと思いつつ

gdgdとお話しをして10分、

「じゃあ、しゅーちゃんお着替えしよーね」

「えー……」皆、同じ反応をした

「今度の方が、もっとアレダカラ」

「じゃあ……」

やっと、緊張の糸が切れた

微妙に、慣れてきてしまった

そしてさっきの部屋に連れられ、

次に出されたものは

「メイド服」だった

五和（前書き）

ココロ聞いてるなう

五和

「……………」なんですかその、冥途服」

「しゅーちゃん、声に出したらわからないボケをしないの!!」

「えっ」

「えっ、じゃないの。これに着替えるのよ」(きっと、PAD長の
だと思われ)

「どうしてこうなった・・!!」

「じゃあ、ナース服の方がいい?」

「じゃあ、メイド服をお願いします」

「じゃあってなによ、そういうなら、着てるもの全部剥いで下着姿
に手錠かけてみんなの前にほっぽりだすよw」

「メイド服が着たいです。」

「そうだよ、しゅーちゃん、最初から素直に言えばいいのに」

この、決断があとあと、大変なことに

じゃあ、着方は「……………」

はいできあがり。

「やっぱり似合うな。照れるなってwww」

「照れたないから、あとほめてもなにもでないと思うよw」

「なにかは出るよ」

といって、なぜか化粧をつけられはじめた

「これでよし、別に変なことしてないよ」

じゃあ、行きますか

続く

六輪（前書き）

書いてなかったけど、主人子は男の子です（少しの嫉妬
@妹に罵倒され続けるCDのやつ聞いてるwww

七和（前書き）

もう七和かよw

V o c a l A r r a n g e

- S w e e t s

T i m e -

（ゆつく

りバージョン聞いてる

七和

．．．．．顔をあげてみると．．．．．
みんなの顔が２８２８していてもものすごく怖いです。
その好奇心大性なその目が怖いです。

「こんなに予想通りにいくとは思わなかったよ」
あるおんにゃのこがこういいました。
すると、飢えた獣のような眼をしたおんにゃのこたちが一斉に飛び
かかってきました。

うあああああああああああああああああああああああああああ
あああ

．．．．．

なんだ、夢か

変な夢だったな

終

七和（後書き）

ということでは、ここで分岐させようかなって

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7220v/>

気の弱いゆえにw

2011年10月6日16時17分発行